

ユリ切り花の市場販売促進活動を実施

～印旛地域のユリ産地としての認知度向上を目指して～

印旛農業事務所改良普及課 令和7年3月28日発

管内のユリ生産者で構成される「ユリ研究会いんば」では、3月から最盛期を迎える産地としての認知度向上を目的に、2月21日に市場での販売促進活動を実施し、印旛農業事務所はその活動を支援しました。

当日は生産者5名が参加し、大田花きセリ場でのセリ前挨拶、市場及び仲卸関係者との情報交換を行いました。また、仲卸店舗前販売も行い、研究会の紹介リーフレットや出荷予定表とともに生産者自ら販売しました。お客様からは「印旛のユリを初めて知った」「この品種がもっとほしい」などの声をいただき、今後の販売に向けたPRに繋がりました。参加者からは「有意義だった」「グループで出来て良かった」等の前向きな意見とともに、開催方法の見直しなど継続を見据えた建設的な意見も寄せられました。

農業事務所では、今後もユリ産地の強化を目指し、支援していきます。



仲卸販売促進活動に取り組む生産者



セリ前挨拶の様子